

## 八ッ場ダム 国交省の過大な想定と「やらせ」で継続を結論 まさの氏がスーパー堤防も同じ手法と指摘！（11月20日の講演会にて）

### 18班が東京地裁に提訴

雨の中、原告団・弁護団と支援の60名が参加

11月11日（金）午前10時、18班の原告団11名と9人の弁護団が「江戸川区スーパー堤防事業取り消し訴訟」を東京地裁に提訴しました。その後、弁護士会館で国会議員や区議会議員、各会の代表の支援を受けながら報告集会とテレビ、新聞各社との記者会見を行いました。私たちもこれから支援の輪を広げていきます。ご協力をよろしくお願いします。



林信弘氏「甲和焼と小岩の土」のお話し



篠原裕氏「江戸風鈴の歴史と由来」を語る



ジャーナリスト まさのあつこ氏の講演



11月20日（日）午前10時から北小岩「コミュニティ会館」にて、講演会と伝統工芸の会を開きました。  
前段は、江戸川区の伝統工芸である「甲和焼」の陶芸師、林信弘氏が小岩の土で焼き物を焼くことを思いつき、試行錯誤を重ねながら「甲和焼 芝窯」を立ち上げた苦労話を、サンプルを見せながら語ってくれました。  
次いで「江戸風鈴」の篠原風鈴本舗三代目社長の篠原裕氏が、ガラス風鈴を「江戸風鈴」と命名した二代目の頃の苦労話をしながら、伝統工芸品としてブランド化に努めてきたことなど、作り方を交えながら話しました。

最後にジャーナリストのまさのあつこ氏による「八ッ場ダム継続」を有識者会議が結論付ける、数字の水増しや、だましの手法で作りに上げてきたデータの捏造など、熱く語りました。  
この時も、江戸川区が町会を利用した署名の「やらせ」と同じことを、八ッ場ダム推進派の自治体がやっていたことを話し、利権の前には何でもやる体質を浮彫りにしました。  
その後、参加していた18班の宮坂代表が11月11日の提訴を報告し、協力を呼びかけました。その日の支援カンパ2万円が集まり、18班に届けました。ご協力ありがとうございました。

### 陶芸と江戸風鈴の話に参加者が感心しきり